



教区典礼研修会（講師 白浜 満 広島司教）動画配信（概要）

2020年10月25日（日）「ミサに集まって祝うことの意味」

その1

コロナ禍の中、ミサに集まる意味についてお話します。新型コロナウイルスの世界的大流行で、我々は今までに体験したことのない困難な中にある。これは聖書の中で、嵐の中で舟が沈みかけ、弟子たちがイエスに叫んだ。イエス様は静かに祈っておられた。ことを思い起こします。

ソーシャル・ディスタンス：距離をおく。社会的距離。教会の諸活動の中止、規模縮小。
緊急事態宣言下、ミサ非公開、映像配信となった。

共通理解：新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、教会活動を行っていく。

ローマ教皇庁典礼秘跡省の手紙：“喜びをもって聖体に戻りましょう”

（長官 ロベール・サラ枢機卿）

初代教会におけることば（マタイ 18章20節）

「二人三人私の名によって集まる所に私もその中にいる。」

使徒言行録 2章42・44節

- ①使徒の教え（聖書）を学ぶ、②相互の交わり、③パンを焼くこと（ミサ）、
- ④ 祈ることに熱心であった。すべてのものを共有。

“主からのものなしに何もできない”（4世紀、アビティナの殉教者の言葉）

- ①主の日→主の復活、聖霊降臨
- ②主の家族→信仰共同体（集まる場所）＝教会堂
- ③主の家
- ④主のことば→聖書（福音）
- ⑤主のいけにえ→十字架上の受難
- ⑥主の食卓→晩さん

◎イエス様への手紙—教会学校の子どもたち1

「イエス様はきえた。でもふっかつして、わたしたちをまもっておられる。」

（2時間の講演であり、3回シリーズで、次回は月報12月号に続く）